

元気いっぱい 友だちいっぱい
すくすく学ぶ 夢いっぱい

横浜市立美しが丘小学校

令和5年8月28日



美小通信 5

横浜市情報教育ネットワーク(YY ネット)上に本校のホームページがあります。

URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushigaoka/>

学校長 高木 圭子

青葉区美しが丘2丁目29

電話(901)3408

「当たり前」の幅をひろげる

校長 高木 圭子

今年も暑い日が続きました。気温が35度を超える猛暑日の日数が過去最高を記録し、平均気温も例年を大きく上回りました。まだまだ、暑い日は続きそうで、熱中症への注意も必要です。対策に留意しながら教育活動を進めてまいります。各ご家庭でも対応をよろしくお願いいたします。

先日買い物をした時の話です。合計407円でしたが、チャージ金額が不足し、1,007円の現金を支払いました。対応してくれたのは、アルバイトの若い店員さんでしたが、5円玉が見えなかったらしく「1,002円お預かりします。」というと同時にレジに打ち込んでしまいました。私は「5円玉が隠れてしまって、すみません。1,007円です。」と話すと、とても困った様子でした。レジへの打ち直しができないとのことで、「レシートはなくて大丈夫です」と答えました。それでもまだ困った様子で、「少々お待ちください。」というとお店の裏に行き、戻ってきたときには電卓を持ってきました。確認が必要なのだなと思いましたが、それも違った様子です。とても慌てていて、入力を間違え、何回か違う金額のお釣りを提示してきたので、合計の代金と支払った金額を改めて伝え、600円のお釣りを受け取ることができました。

私は端数の金額を出すことで、きりのよいお釣りをもらえるし、お店にとっても細かいお金を扱うより早く対応できてよいと思っていたので、店員さんを困らせてしまったことが不思議でした。この話を友人にしたところ、今の若い世代の人たちは、小さい頃から電子マネーや交通系ICでお金のやり取りをしていて現金を使わずに生活しているから、わざわざ計算して支払ったり、お釣りをきりの良い数字にしようとしたりする必要がないとのことでした。納得です。私が良かれと思って出した7円は、店員さんにとって不思議な7円だったのでしょう。社会や生活が大きく変わっている今、当たり前も大きく変化していること、多様な当たり前が混在している社会に生きていることに気づかされました。常に自分の当たりの幅を広げ、更新していかなければいけないと痛感した出来事でした。

さて、本校では教育活動の振り返りを夏と冬の2回行い、学校運営の改善が迅速に行えるようにしています。今回「ペーパーレス化の促進」について検討をしました。ご家庭には、学校だよりを含む配付物をリーバーでの配信にしようと考えています。メリット、デメリットを考え、後期は試行期間として紙も併用しながら配信してまいります。ご意見をいただき、より良い方向を一緒に探っていきたいと考えます。今月もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。